



# オーストラリア株式ファンド

## 良好なパフォーマンスと オーストラリア株式の今後の見通しについて

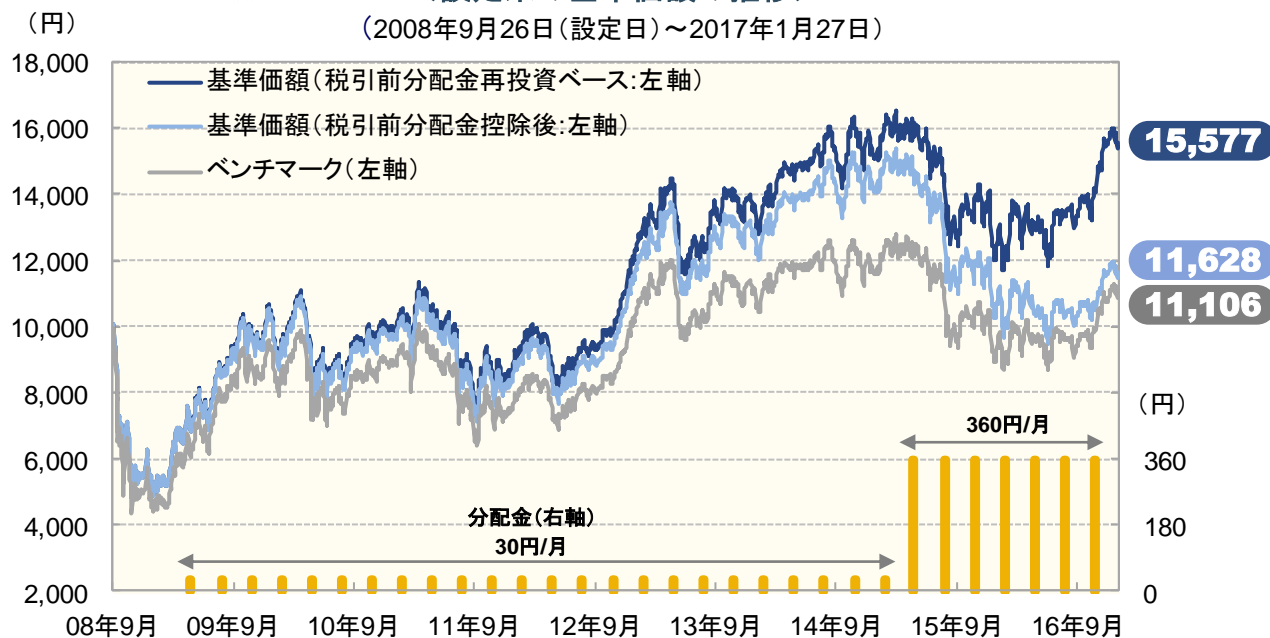
本レポートでは、当ファンドの良好なパフォーマンスをお伝えするとともに、足元の投資環境について、当ファンドのマザーファンドの運用を担当するオーストラリアの資産運用会社、日興AMリミテッドからのコメントをもとにご紹介します。

### 市場を上回る良好なパフォーマンス

- 当ファンドの設定来のパフォーマンスは、徹底したボトムアップリサーチに基づき、高い成長が期待される銘柄や、割安株に選別投資してきたことなどが奏功し、ベンチマークを上回っています。

#### <設定来の基準価額の推移>

(2008年9月26日(設定日)～2017年1月27日)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。  
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※ベンチマークは、S&P/ASX 200指数(円換算ベース)です。

公表指数をもとに日興アセットマネジメントが円換算し、設定日の前営業日を10,000として指数化しています。  
 ※S&P/ASX 200指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はS&P社に帰属します。  
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

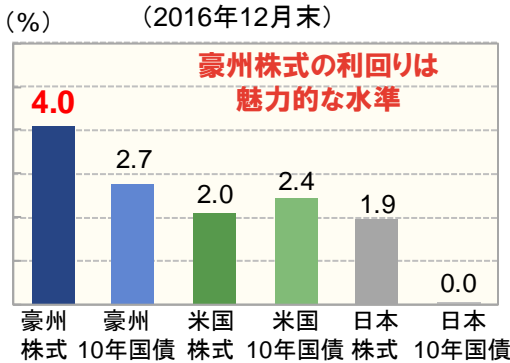
■ 当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 業績改善とともに上昇が期待される豪州株式

- 日銀やECB(欧州中央銀行)による金融緩和などを背景に、足元の世界的な低金利環境は今後も続くと考えられ、豪州株式の相対的に高い利回り水準は選好されるものと考えられます。さらに、企業業績に目を向けると、オーストラリア企業の業績見通しは良好であり、今後の株価上昇が期待されます。
- 産業別のパフォーマンスをみると、内需関連産業は個人消費拡大の恩恵を受け、比較的堅調なパフォーマンスが続いています。また、2015年まで軟調に推移していた素材・エネルギーといった資源関連セクターについても、2016年は資源価格の回復を背景に大きく反発する展開となりました。今後も、低金利環境に支えられた内需拡大や、需給改善期待に伴う資源価格の上昇が追い風になると期待されます。

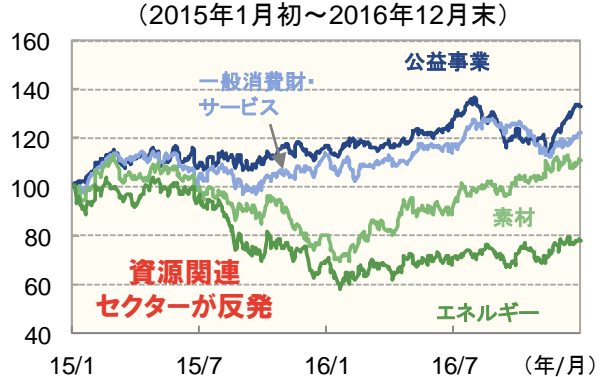
### 相対的に高い利回り水準と業績拡大期待が追い風に

【豪州と日米の利回り水準の比較】



豪州株式：S&P/ASX 200指数、米国株式：S&P500指数、日本株式：TOPIX(東証株価指数)  
※端数は切捨て処理しています。

【豪州株式の産業別指数の推移】



※S&P/ASX 200指数の各業種指数を使用(豪ドルベース)  
※起点を100として指数化

【豪州株式のパフォーマンスとEPS(1株当たり純利益)の推移】

(2005年12月末～2016年12月末)



豪州株式：S&P/ASX 200指数(豪ドルベース)  
※17、18、19年のEPSの予想値は2016年12月末時点の市場予想です。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 徹底したボトムアップリサーチを通じて選別投資



日興AMリミテッド  
ポートフォリオ・マネジャー  
兼シニア・アナリスト  
マルコム・ウィッテン

### 【当ファンドでは、割安感が強まっている景気循環株に注目】

- オーストラリア株式は、短期的には英国のEU(欧州連合)離脱に向けての動きや米新政権の政策に伴う不透明感などが重石となり、変動が大きくなる可能性もあるものの、中長期的には、資源価格の回復や内需拡大などを背景に、堅調な推移が期待されます。
- 世界的に低金利環境の継続が見込まれるなか、相対的に配当利回り水準の高いオーストラリア株式は選好されやすいと考えられます。当ファンドでは、そのなかでも特に、足元の割安感が強い景気循環株(景気回復の恩恵を強く受ける銘柄)に注目しています。
- 今後も徹底したボトムアップリサーチに基づき、オーストラリア株式市場において高い成長が期待される銘柄に選別投資することで、良好なパフォーマンスの獲得を目指していきます。

### ご参考：豪ドルの見通し

#### 【資源価格の回復とともに上昇】

- 豪ドルは資源国通貨としての側面を有しており、2016年半ば以降、鉄鉱石などの資源価格が大きく反発するなか、豪ドルも対円で上昇傾向となりました。
- 米新政権が掲げる大規模なインフラ投資や、中国の鉄鋼生産の削減計画などを背景とした鉄鋼などの需給に改善期待が広がるなか、今後も資源価格の上昇が見込まれることは、豪ドルを下支えすると期待されます。

#### 【金利水準を背景に底堅く推移】

- 今後については、オーストラリアの好調な景気動向に加え、相対的に高い金利水準や信用力が投資家に選好されると期待され、豪ドルを下支える要因になると考えられます。
- 日本では金融緩和策が今後も継続される見通しであることから、日豪の金利差を背景に豪ドルの動きは、対円で底堅いものになると期待されます。

#### 【豪ドルと鉄鉱石価格の推移】

(2014年1月初～2016年12月末)



鉄鉱石価格: 中国鉄鉱石62%スポット  
信頼できると判断したデータをもとに  
日興アセットマネジメントが作成

※上記は、当ファンドのマザーファンドを運用する日興AMリミテッドからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ポートフォリオの概要(2016年12月末時点)

### <株式業種別組入比率>

	業種	比率
1	銀行	26.9%
2	素材	17.0%
3	その他	14.3%
4	消費者サービス	8.1%
5	電気通信サービス	7.3%

※マザーファンドの状況です。  
※比率は対組入株式時価総額比です。

### <組入株式の予想配当利回り(年率換算)>

予想配当利回り 4.9%

※上記予想配当利回りは、月末時点で組み入れている各組入株式の予想配当利回りをマザーファンド全体で組入株式時価評価額のウェイトで加重平均したものです。また、信託報酬等の費用を控除したものではありません。  
※上記は、当ファンドおよび組入株式の利回り、運用成果等について何ら約束するものではありません。

### <株式組入上位10銘柄>

(銘柄数:32銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	TELSTRA CORPORATION LTD	電気通信サービス	7.07%
2	WESTPAC BANKING CORP	銀行	7.04%
3	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	7.04%
4	AUST AND NZ BANKING GROUP	銀行	7.03%
5	STOCKLAND	その他	5.88%
6	LENDLEASE GROUP	その他	5.05%
7	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	銀行	5.04%
8	AMCOR LIMITED	素材	4.80%
9	HENDERSON GROUP PLC-CDI	各種金融	4.56%
10	WESFARMERS LTD	食品・生活必需品小売り	4.51%

※マザーファンドの状況です。比率は対純資産総額比です。  
※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。  
※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

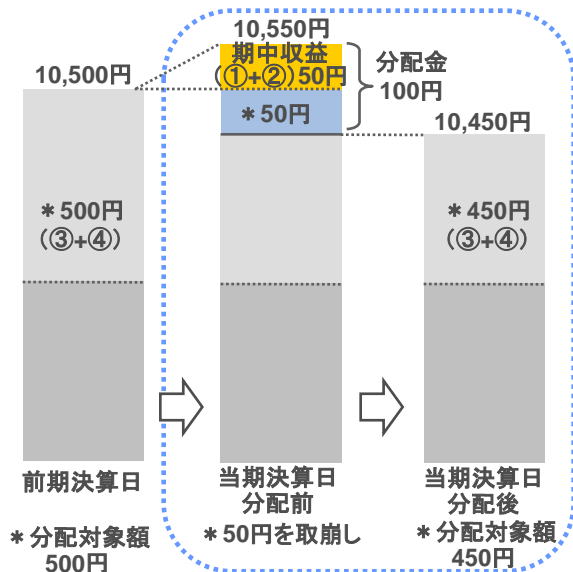
### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



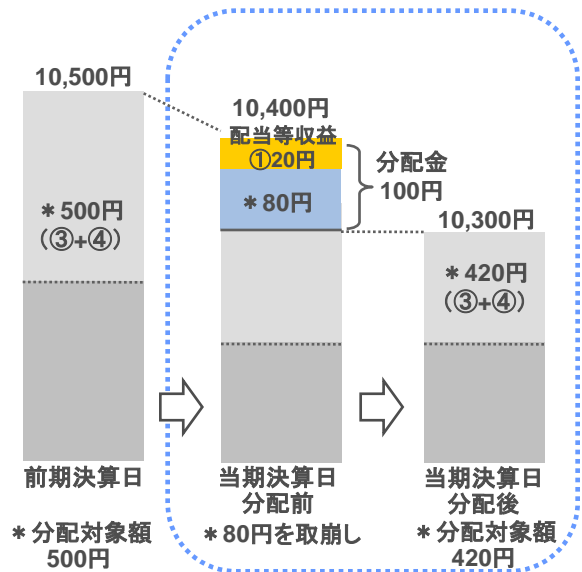
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合



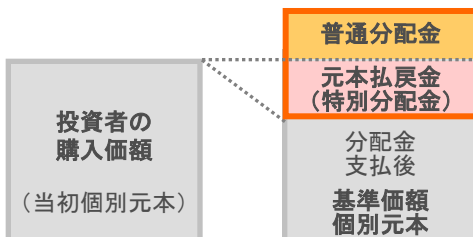
#### 前期決算から基準価額が下落した場合



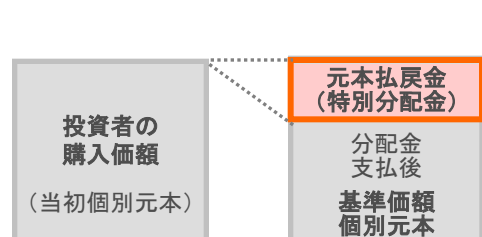
(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

**普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

**元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ファンドの特色

1. オーストラリアの株式を主な投資対象とします。
2. 日興AMリミテッドが運用を担当します。
3. 年4回(原則、2月、5月、8月、11月の各15日)決算を行ないます。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

※ 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項

### ●リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

### 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ●その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様に「オーストラリア株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## お申込メモ

商品分類	追加型投信／海外／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がオーストラリア証券取引所の休業日、シドニーの銀行休業日、メルボルンの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2023年8月15日まで(2008年9月26日設定)
決算日	年4回。毎年2月、5月、8月、11月の各15日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がオーストラリア証券取引所の休業日、シドニーの銀行休業日、メルボルンの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

### <お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料 購入時手数料率は、3.24%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。  
※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料 ありません。
- 信託財産留保額 ありません。

### <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 純資産総額に対し年1.728%(税抜1.6%)を乗じて得た額
- その他費用 目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。  
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。  
※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 投資顧問会社 : 日興AMリミテッド
- 受託会社 : みずほ信託銀行株式会社(再信託受託会社: 資産管理サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。  
 日興アセットマネジメント株式会社  
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>  
 [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第52号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順・資料作成日現在)